★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	約９年10カ月間（2018年11月16日～2028年９月15日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ．ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー－ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）」の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ．ケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー－ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）」の受益証券（円建） ロ．ダイワ・マネー・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネー・マザーファンド	本邦通貨表示の公社債
投資制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	隔月分配型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。
	資産成長型	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

◇SUZ03379202003l7◇

NWQグローバル厳選証券ファンド
(為替ヘッジあり／隔月分配型) (為替ヘッジなし／隔月分配型)
(為替ヘッジあり／資産成長型) (為替ヘッジなし／資産成長型)
(愛称：選択の達人)

運用報告書(全体版)

隔月分配型
- **第５期（決算日 2019年11月18日）**
- **第６期（決算日 2020年１月17日）**
- **第７期（決算日 2020年３月17日）**

資産成長型　第３期（決算日 2020年３月17日）

(作成対象期間　2019年９月18日～2020年３月17日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界の米ドル建資産に投資を行ない、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
https://www.daiwa-am.co.jp/

<3379>
<3380>
<3381>
<3382>

為替ヘッジあり／隔月分配型

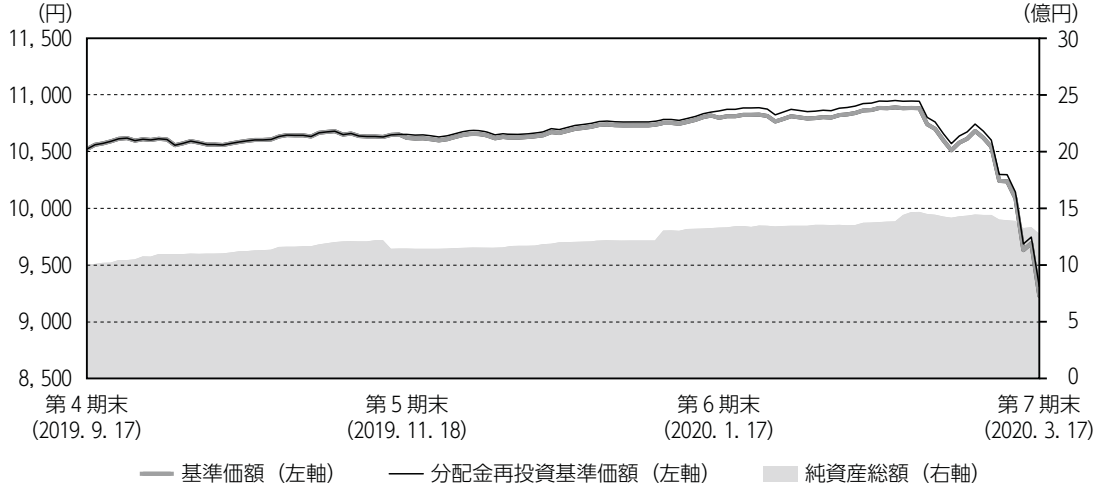
設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	投資信託証券受入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
1期末（2019年3月18日）	10,176	30	2.1	—	95.2	503
2期末（2019年5月17日）	10,251	30	1.0	—	99.0	753
3期末（2019年7月17日）	10,414	30	1.9	—	99.5	924
4期末（2019年9月17日）	10,522	30	1.3	—	98.4	1,004
5期末（2019年11月18日）	10,622	30	1.2	—	99.2	1,144
6期末（2020年1月17日）	10,799	30	1.9	—	98.9	1,330
7期末（2020年3月17日）	9,228	30	△14.3	—	98.9	1,275

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
（注4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第 5 期首：10, 522円
第 7 期末： 9, 228円（既払分配金90円）
騰 落 率：△11. 5%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）で保有している株式やハイイールド債券などの下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー－ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）

	年　月　日	基準価額		公社債組入比率	投資信託証券受入比率
			騰落率		
		円	%	%	%
第5期	（期 首）2019年9月17日	10,522	—	—	98.4
	9月末	10,603	0.8	—	99.5
	10月末	10,667	1.4	—	98.5
	（期 末）2019年11月18日	10,652	1.2	—	99.2
第6期	（期 首）2019年11月18日	10,622	—	—	99.2
	11月末	10,655	0.3	—	99.1
	12月末	10,731	1.0	—	99.0
	（期 末）2020年1月17日	10,829	1.9	—	98.9
第7期	（期 首）2020年1月17日	10,799	—	—	98.9
	1月末	10,802	0.0	—	99.4
	2月末	10,599	△ 1.9	—	99.5
	（期 末）2020年3月17日	9,258	△ 14.3	—	98.9

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について （2019. 9. 18 ～ 2020. 3. 17）

■海外金融市況

海外金融市場は、株式は大幅下落、投資適格社債は底堅い展開となりました。

株式市場は、米国の緩和的な金融政策や米国企業の好調な業績動向などから、堅調な展開が続きました。しかし2020年２月下旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大懸念、ＯＰＥＣ（石油輸出国機構）と非ＯＰＥＣ主要産油国による「ＯＰＥＣプラス」の会合における減産交渉の決裂で原油価格が急落したこと、米国の景気後退懸念の高まりなどから、大幅な下落となりました。

債券市場では、米国の金融緩和策や投資家のリスク回避の動きから、投資適格社債は相対的に底堅い展開となりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う投資家の現金化の動きから、ハイイールド債券は低調なパフォーマンスとなりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。米国では景気サイクルが後半期に突入したこと、2020年以降のグローバル経済に対する減速懸念が意識されることなどを背景に、投資適格社債やハイイールド債券等のクレジット性資産を強気にみています。引き続き、ボトムアップ分析による厳選した銘柄選定を通じて、投資妙味のある銘柄の組み入れに注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて （2019. 9. 18 ～ 2020. 3. 17）

■当ファンド

当ファンドは、フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。高クーポンが享受できる投資適格社債やハイイールド債券などインカム系資産の組入比率を高位に維持しましたが、一方で株式については、景気サイクルが後半期に突入するなど潜在的なリスクを注視しながら、慎重なスタンスとしました。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目	第５期 2019年９月18日 ～2019年11月18日	第６期 2019年11月19日 ～2020年１月17日	第７期 2020年１月18日 ～2020年３月17日
当期分配金（税込み）（円）	**30**	**30**	**30**
対基準価額比率（％）	0.28	0.28	0.32
当期の収益　（円）	30	30	30
当期の収益以外（円）	—	—	—
翌期繰越分配対象額　（円）	622	799	776

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項目	第５期	第６期	第７期
(a)経費控除後の配当等収益	✓ 43.35円	✓ 45.28円	✓ 30.87円
(b)経費控除後の有価証券売買等損益	71.65	149.99	0.00
(c)収益調整金	228.44	291.06	336.49
(d)分配準備積立金	308.98	342.80	439.55
(e)当期分配対象額（a+b+c+d）	652.44	829.14	806.93
(f)分配金	30.00	30.00	30.00
(g)翌期繰越分配対象額（e−f）	622.44	799.14	776.93

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。米国では景気サイクルが後半期に突入したこと、2020年以降のグローバル経済に対する警戒感が高まっていることから、当ファンドでは、株式と比較して投資適格社債を強気にみており、また弁済順位の高い証券に投資妙味があると考えています。引き続きボトム・アップ分析による厳選した銘柄選定を通じて、投資妙味のある銘柄の組み入れに注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

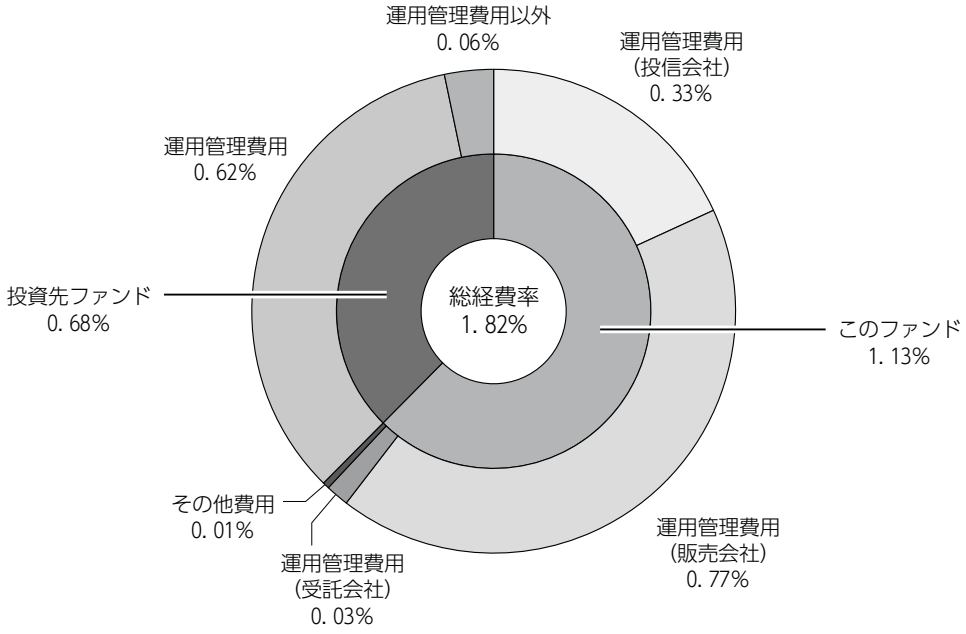
項目	第5期～第7期 (2019. 9. 18～2020. 3. 17)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	60円	0. 560%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は10, 647円です。**
（投信会社）	(17)	(0. 164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(41)	(0. 382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0. 014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合計	60	0. 564	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.82%です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	1.82%
①このファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2019年９月18日から2020年３月17日まで）

決算期	第５期～第７期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	5,262.32946	531,515	715.678263	72,000

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2019年９月18日から2020年３月17日まで）

第５期～第７期								
買付				売付				
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	5,077.039123	513,000	101	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	715.678263	72,000	100

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1)ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第７期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券（ケイマン諸島）			
NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS	14,478.177885	1,261,295	98.9

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2)親投資信託残高

種類	第４期末	第７期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	180	180	183

（注）単位未満は切捨て。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）

■投資信託財産の構成

2020年３月17日現在

項　　目	第７期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	1,261,295	97.4
ダイワ・マネー・マザーファンド	183	0.0
コール・ローン等、その他	33,579	2.6
投資信託財産総額	1,295,059	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2019年11月18日）、（2020年１月17日）、（2020年３月17日）現在

項　　目	第５期末	第６期末	第７期末
（A）資産	**1,226,048,415円**	**1,337,035,079円**	**1,305,059,186円**
コール・ローン等	91,193,585	21,831,404	33,579,909
投資信託受益証券（評価額）	1,134,670,957	1,315,019,802	1,261,295,422
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	183,873	183,873	183,855
未収入金	—	—	10,000,000
（B）負債	**81,700,809**	**7,005,976**	**29,545,658**
未払金	—	—	20,000,000
未払収益分配金	3,231,877	3,694,818	4,146,520
未払解約金	76,315,133	1,049,265	2,794,265
未払信託報酬	2,138,120	2,229,936	2,554,263
その他未払費用	15,679	31,957	50,610
（C）純資産総額（A－B）	**1,144,347,606**	**1,330,029,103**	**1,275,513,528**
元本	1,077,292,420	1,231,606,176	1,382,173,542
次期繰越損益金	67,055,186	98,422,927	△106,660,014
（D）受益権総口数	**1,077,292,420口**	**1,231,606,176口**	**1,382,173,542口**
１万口当り基準価額（C／D）	**10,622円**	**10,799円**	**9,228円**

＊第４期末における元本額は954,734,200円、当作成期間（第５期～第７期）中における追加設定元本額は543,179,776円、同解約元本額は115,740,434円です。
＊第７期末の計算口数当りの純資産額は9,228円です。
＊第７期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は106,660,014円です。

■損益の状況

第５期　自2019年９月18日　至2019年11月18日
第６期　自2019年11月19日　至2020年１月17日
第７期　自2020年１月18日　至2020年３月17日

項　　目	第５期	第６期	第７期
(A)配当等収益	**5,482,500円**	**6,097,836円**	**6,840,449円**
受取配当金	5,484,526	6,099,436	6,841,563
受取利息	31	3	2
支払利息	△ 2,057	△ 1,603	△ 1,116
(B)有価証券売買損益	**9,061,163**	**20,198,591**	**△ 215,919,728**
売買益	9,641,158	20,247,997	725,885
売買損	△ 579,995	△ 49,406	△ 216,645,613
(C)信託報酬等	**△ 2,153,799**	**△ 2,246,226**	**△ 2,572,916**
(D)当期損益金（A＋B＋C）	**12,389,864**	**24,050,201**	**△ 211,652,195**
(E)前期繰越損益金	**33,286,962**	**42,219,649**	**60,754,538**
(F)追加信託差損益金	**24,610,237**	**35,847,895**	**48,384,163**
(配当等相当額)	(23,073,298)	(32,836,321)	(46,509,952)
(売買損益相当額)	(1,536,939)	(3,011,574)	(1,874,211)
(G)合計（D＋E＋F）	**70,287,063**	**102,117,745**	**△ 102,513,494**
(H)収益分配金	**△ 3,231,877**	**△ 3,694,818**	**△ 4,146,520**
次期繰越損益金（G＋H）	**67,055,186**	**98,422,927**	**△ 106,660,014**
追加信託差損益金	24,610,237	35,847,895	48,384,163
(配当等相当額)	(23,073,298)	(32,836,321)	(46,509,952)
(売買損益相当額)	(1,536,939)	(3,011,574)	(1,874,211)
分配準備積立金	42,444,949	62,575,032	60,875,547
繰越損益金	—	—	△ 215,919,724

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第５期	第６期	第７期
(a) 経費控除後の配当等収益	4,670,511円	5,576,928円	4,267,529円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	7,719,353	18,473,273	0
(c) 収益調整金	24,610,237	35,847,895	46,509,952
(d) 分配準備積立金	33,286,962	42,219,649	60,754,538
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	70,287,063	102,117,745	111,532,019
(f) 分配金	3,231,877	3,694,818	4,146,520
(g) 翌期繰越分配対象額 (e－f)	67,055,186	98,422,927	107,385,499
(h) 受益権総口数	1,077,292,420口	1,231,606,176口	1,382,173,542口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ			
1 万 口 当 り 分 配 金	第 5 期	第 6 期	第 7 期
	30円	30円	30円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》
■商号変更について
大和証券投資信託委託株式会社は、2020年 4 月 1 日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

為替ヘッジなし／隔月分配型

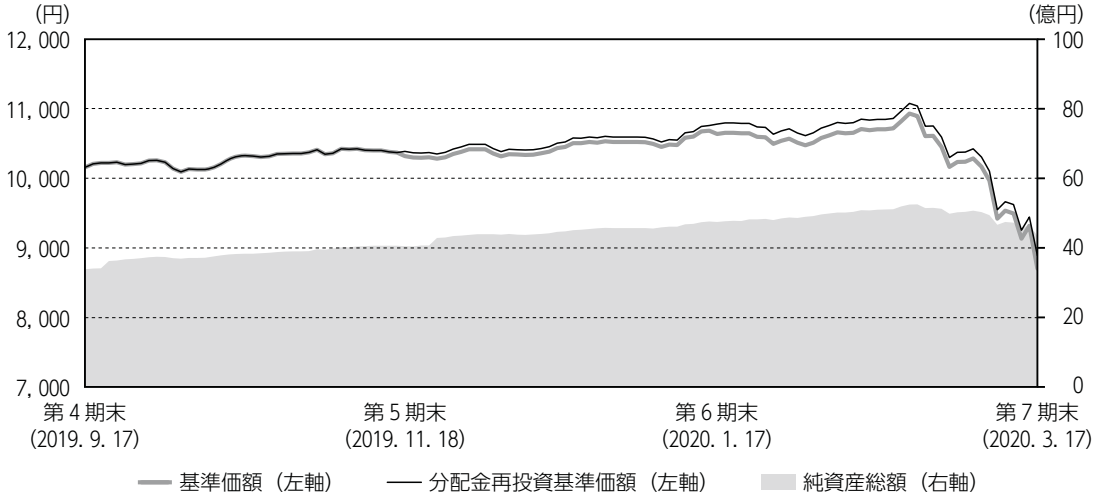
設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	投資信託証券受入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
1期末（2019年3月18日）	10,115	70	1.9	—	98.5	1,676
2期末（2019年5月17日）	10,052	70	0.1	—	97.5	2,337
3期末（2019年7月17日）	10,073	70	0.9	—	99.4	2,562
4期末（2019年9月17日）	10,156	70	1.5	—	99.5	3,386
5期末（2019年11月18日）	10,318	70	2.3	—	99.3	4,047
6期末（2020年1月17日）	10,638	70	3.8	—	99.2	4,745
7期末（2020年3月17日）	8,702	70	△17.5	—	99.5	4,345

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
（注4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第 5 期首：10, 156円
第 7 期末： 8, 702円（既払分配金210円）
騰 落 率：△12. 5%（分配金再投資ベース）

■基準価額の主な変動要因

フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）で保有している株式やハイイールド債券などの下落、米ドルが対円で下落（円高）したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー－ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

	年　月　日	基準価額		公社債組入比率	投資信託証券受入比率
			騰落率		
		円	%	%	%
第5期	（期 首）2019年9月17日	10,156	—	—	99.5
	9月末	10,255	1.0	—	99.2
	10月末	10,410	2.5	—	98.5
	（期 末）2019年11月18日	10,388	2.3	—	99.3
第6期	（期 首）2019年11月18日	10,318	—	—	99.3
	11月末	10,418	1.0	—	99.1
	12月末	10,520	2.0	—	98.9
	（期 末）2020年1月17日	10,708	3.8	—	99.2
第7期	（期 首）2020年1月17日	10,638	—	—	99.2
	1月末	10,511	△ 1.2	—	99.2
	2月末	10,452	△ 1.7	—	98.6
	（期 末）2020年3月17日	8,772	△ 17.5	—	99.5

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について （2019. 9. 18 ～ 2020. 3. 17）

■海外金融市況

海外金融市場は、株式は大幅下落、投資適格社債は底堅い展開となりました。

株式市場は、米国の緩和的な金融政策や米国企業の好調な業績動向などから、堅調な展開が続きました。しかし2020年２月下旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大懸念、ＯＰＥＣ（石油輸出国機構）と非ＯＰＥＣ主要産油国による「ＯＰＥＣプラス」の会合における減産交渉の決裂で原油価格が急落したこと、米国の景気後退懸念の高まりなどから、大幅な下落となりました。

債券市場では、米国の金融緩和策や投資家のリスク回避の動きから、投資適格社債は相対的に底堅い展開となりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う投資家の現金化の動きから、ハイイールド債券は低調なパフォーマンスとなりました。

■為替相場

米ドル円為替相場は下落しました。

当作成期首より、為替相場はおおむねレンジで推移しました。しかし2020年２月下旬以降は、世界的な株安に伴うリスク回避の動きや米国の緊急利下げに伴う日米金利差縮小などが要因となり、対米ドルで円高基調となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。米国では景気サイクルが後半期に突入したこと、2020年以降のグローバル経済に対する減速懸念が意識されることなどを背景に、投資適格社債やハイイールド債券等のクレジット性資産を強気にみています。引き続き、ボトムアップ

分析による厳選した銘柄選定を通じて、投資妙味のある銘柄の組み入れに注力してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて （2019. 9. 18 ～ 2020. 3. 17）

■当ファンド

当ファンドは、フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。高クーポンが享受できる投資適格社債やハイイールド債券などインカム系資産の組入比率を高位に維持しましたが、一方で株式については、景気サイクルが後半期に突入するなど潜在的なリスクを注視しながら、慎重なスタンスとしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項　　目	第５期 2019年９月18日 ～2019年11月18日	第６期 2019年11月19日 ～2020年１月17日	第７期 2020年１月18日 ～2020年３月17日
当期分配金（税込み）（円）	**70**	**70**	**70**
対基準価額比率（％）	0.67	0.65	0.80
当期の収益　（円）	70	70	70
当期の収益以外（円）	—	—	—
翌期繰越分配対象額　（円）	454	765	780

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項　　目	第５期	第６期	第７期
(a)経費控除後の配当等収益	✓　93.08円	✓　96.84円	✓　83.04円
(b)経費控除後の有価証券売買等損益	122.26	282.44	0.00
(c)収益調整金	178.57	216.20	279.33
(d)分配準備積立金	130.08	240.00	488.38
(e)当期分配対象額（a+b+c+d）	524.00	835.50	850.75
(f)分配金	70.00	70.00	70.00
(g)翌期繰越分配対象額（e－f）	454.00	765.50	780.75

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。米国では景気サイクルが後半期に突入したこと、2020年以降のグローバル経済に対する警戒感が高まっていることから、当ファンドでは、株式と比較して投資適格社債を強気にみており、また弁済順位の高い証券に投資妙味があると考えています。引き続きボトム・アップ分析による厳選した銘柄選定を通じて、投資妙味のある銘柄の組み入れに注力してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

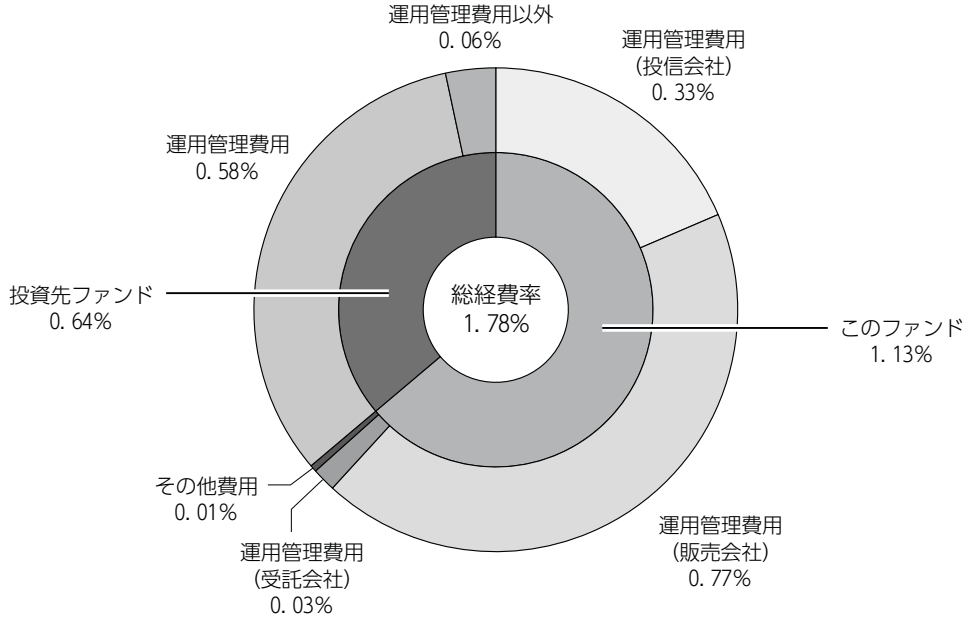
項　　目	第5期～第7期 (2019. 9. 18～2020. 3. 17)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	58円	0. 559%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は10, 366円です。**
（投信会社）	(17)	(0. 164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(40)	(0. 382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0. 014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0. 004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ　の　他）	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合　　計	58	0. 563	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.78%です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	1.78%
①このファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2019年９月18日から2020年３月17日まで）

決算期	第５期～第７期			
	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	17,767.221676	1,746,891	142.55818	14,000

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2019年９月18日から2020年３月17日まで）

第５期～第７期								
買付				売付				
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	16,367.048165	1,611,000	98	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	142.55818	14,000	98

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1)ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第７期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券（ケイマン諸島） NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS	52,518.385671	4,321,580	99.5

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2)親投資信託残高

種類	第４期末	第７期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	737	737	750

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年３月17日現在

項　　目	第７期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	4,321,580	98.2
ダイワ・マネー・マザーファンド	750	0.0
コール・ローン等、その他	76,460	1.8
投資信託財産総額	4,398,791	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2019年11月18日）、（2020年１月17日）、（2020年３月17日）現在

項　　目	第５期末	第６期末	第７期末
（A）資産	**4,082,562,958円**	**4,790,429,001円**	**4,404,791,028円**
コール・ローン等	62,885,278	80,710,480	76,460,217
投資信託受益証券（評価額）	4,018,927,196	4,708,968,037	4,321,580,401
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	750,484	750,484	750,410
未収入金	—	—	6,000,000
（B）負債	**34,782,617**	**44,793,932**	**59,517,763**
未払金	—	—	12,000,000
未払収益分配金	27,460,336	31,228,033	34,955,283
未払解約金	—	5,189,553	3,234,360
未払信託報酬	7,268,887	8,262,575	9,147,450
その他未払費用	53,394	113,771	180,670
（C）純資産総額（A－B）	**4,047,780,341**	**4,745,635,069**	**4,345,273,265**
元本	3,922,905,283	4,461,147,666	4,993,611,968
次期繰越損益金	124,875,058	284,487,403	△ 648,338,703
（D）受益権総口数	**3,922,905,283口**	**4,461,147,666口**	**4,993,611,968口**
１万口当り基準価額（C／D）	**10,318円**	**10,638円**	**8,702円**

＊第４期末における元本額は3,334,062,958円、当作成期間（第５期～第７期）中における追加設定元本額は1,738,373,004円、同解約元本額は78,823,994円です。
＊第７期末の計算口数当りの純資産額は8,702円です。
＊第７期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は648,338,703円です。

■損益の状況

第５期　自2019年９月18日　至2019年11月18日
第６期　自2019年11月19日　至2020年１月17日
第７期　自2020年１月18日　至2020年３月17日

項　　目	第５期	第６期	第７期
(A)配当等収益	**39,681,936円**	**45,330,983円**	**50,682,689円**
受取配当金	39,687,974	45,336,551	50,686,241
受取利息	64	32	1
支払利息	△ 6,102	△ 5,600	△ 3,553
(B)有価証券売買損益	**52,121,828**	**132,201,087**	**△ 965,026,056**
売買益	52,213,804	132,625,788	1,128,139
売買損	△ 91,976	△ 424,701	△ 966,154,195
(C)信託報酬等	**△ 7,322,281**	**△ 8,323,000**	**△ 9,214,349**
(D)当期損益金（A＋B＋C）	**84,481,483**	**169,209,070**	**△ 923,557,716**
(E)前期繰越損益金	**51,029,878**	**107,071,987**	**243,880,372**
(F)追加信託差損益金	**16,824,033**	**39,434,379**	**66,293,924**
(配当等相当額)	(70,051,708)	(96,451,071)	(139,487,845)
(売買損益相当額)	(△ 53,227,675)	(△ 57,016,692)	(△ 73,193,921)
(G)合計（D＋E＋F）	**152,335,394**	**315,715,436**	**△ 613,383,420**
(H)収益分配金	**△ 27,460,336**	**△ 31,228,033**	**△ 34,955,283**
次期繰越損益金（G＋H）	**124,875,058**	**284,487,403**	**△ 648,338,703**
追加信託差損益金	16,824,033	39,434,379	66,293,924
(配当等相当額)	(70,051,708)	(96,451,071)	(139,487,845)
(売買損益相当額)	(△ 53,227,675)	(△ 57,016,692)	(△ 73,193,921)
分配準備積立金	108,051,025	245,053,024	250,393,397
繰越損益金	—	—	△ 965,026,024

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	第５期	第６期	第７期
(a) 経費控除後の配当等収益	36,517,201円	43,206,073円	41,468,308円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	47,964,282	126,002,997	0
(c) 収益調整金	70,051,708	96,451,071	139,487,845
(d) 分配準備積立金	51,029,878	107,071,987	243,880,372
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	205,563,069	372,732,128	424,836,525
(f) 分配金	27,460,336	31,228,033	34,955,283
(g) 翌期繰越分配対象額 (e－f)	178,102,733	341,504,095	389,881,242
(h) 受益権総口数	3,922,905,283口	4,461,147,666口	4,993,611,968口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ			
1 万 口 当 り 分 配 金	第 5 期	第 6 期	第 7 期
	70円	70円	70円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

《お知らせ》
■商号変更について
大和証券投資信託委託株式会社は、2020年 4 月 1 日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

為替ヘッジあり／資産成長型

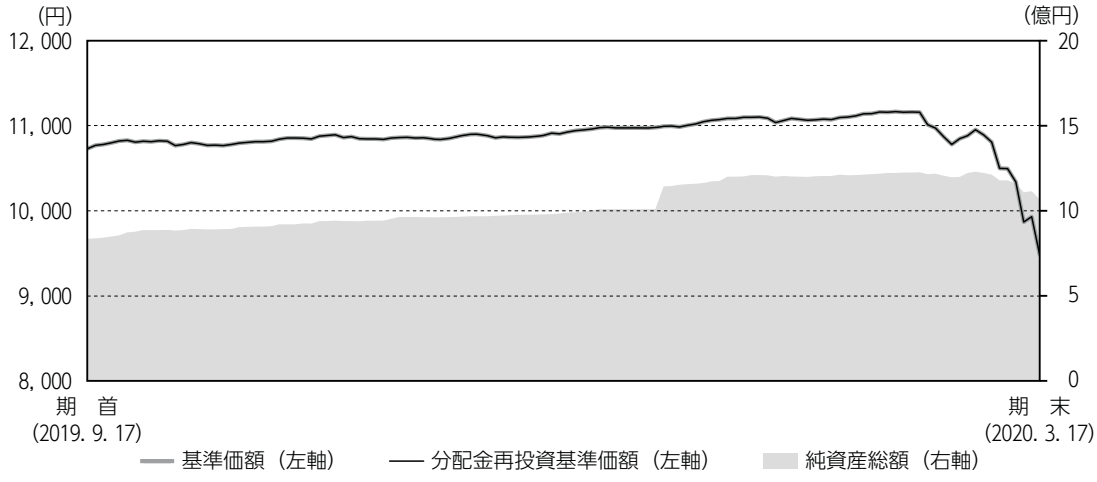
設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	投資信託証券受入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
1期末（2019年3月18日）	10,290	0	2.9	—	99.2	344
2期末（2019年9月17日）	10,729	0	4.3	—	99.4	835
3期末（2020年3月17日）	9,482	0	△ 11.6	—	98.0	1,066

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
（注4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期　首：10, 729円
期　末：　9, 482円（分配金 0 円）
騰落率：△11. 6％（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）で保有している株式やハイイールド債券などの下落がマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー－ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）

年　月　日	基準価額		公社債組入比率	投資信託証券受益証券組入比率
		騰落率		
	円	%	%	%
（期 首）2019年 9 月17日	10,729	—	—	99.4
9 月末	10,813	0.8	—	99.3
10月末	10,878	1.4	—	98.2
11月末	10,896	1.6	—	99.4
12月末	10,973	2.3	—	98.8
2020年 1 月末	11,076	3.2	—	99.4
2 月末	10,869	1.3	—	99.4
（期 末）2020年 3 月17日	9,482	△ 11.6	—	98.0

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について （2019. 9. 18 ～ 2020. 3. 17）

■海外金融市況

海外金融市場は、株式は大幅下落、投資適格社債は底堅い展開となりました。

株式市場は、米国の緩和的な金融政策や米国企業の好調な業績動向などから、堅調な展開が続きました。しかし2020年２月下旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大懸念、ＯＰＥＣ（石油輸出国機構）と非ＯＰＥＣ主要産油国による「ＯＰＥＣプラス」の会合における減産交渉の決裂で原油価格が急落したこと、米国の景気後退懸念の高まりなどから、大幅な下落となりました。

債券市場では、米国の金融緩和策や投資家のリスク回避の動きから、投資適格社債は相対的に底堅い展開となりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う投資家の現金化の動きから、ハイイールド債券は低調なパフォーマンスとなりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。米国では景気サイクルが後半期に突入したこと、2020年以降のグローバル経済に対する減速懸念が意識されることなどを背景に、投資適格社債やハイイールド債券等のクレジット性資産を強気にみています。引き続き、ボトムアップ分析による厳選した銘柄選定を通じて、投資妙味のある銘柄の組み入れに注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて （2019. 9. 18 ～ 2020. 3. 17）

■当ファンド

当ファンドは、フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。高クーポンが享受できる投資適格社債やハイイールド債券などインカム系資産の組入比率を高位に維持しましたが、一方で株式については、景気サイクルが後半期に突入するなど潜在的なリスクを注視しながら、慎重なスタンスとしました。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項　　目			当期 2019年９月18日 ～2020年３月17日
当期分配金（税込み）		**（円）**	**―**
	対基準価額比率	（%）	―
	当期の収益	（円）	―
	当期の収益以外	（円）	―
翌期繰越分配対象額		（円）	683

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。米国では景気サイクルが後半期に突入したこと、2020年以降のグローバル経済に対する警戒感が高まっていることから、当ファンドでは、株式と比較して投資適格社債を強気にみており、また弁済順位の高い証券に投資妙味があると考えています。引き続きボトム・アップ分析による厳選した銘柄選定を通じて、投資妙味のある銘柄の組み入れに注力してまいります。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

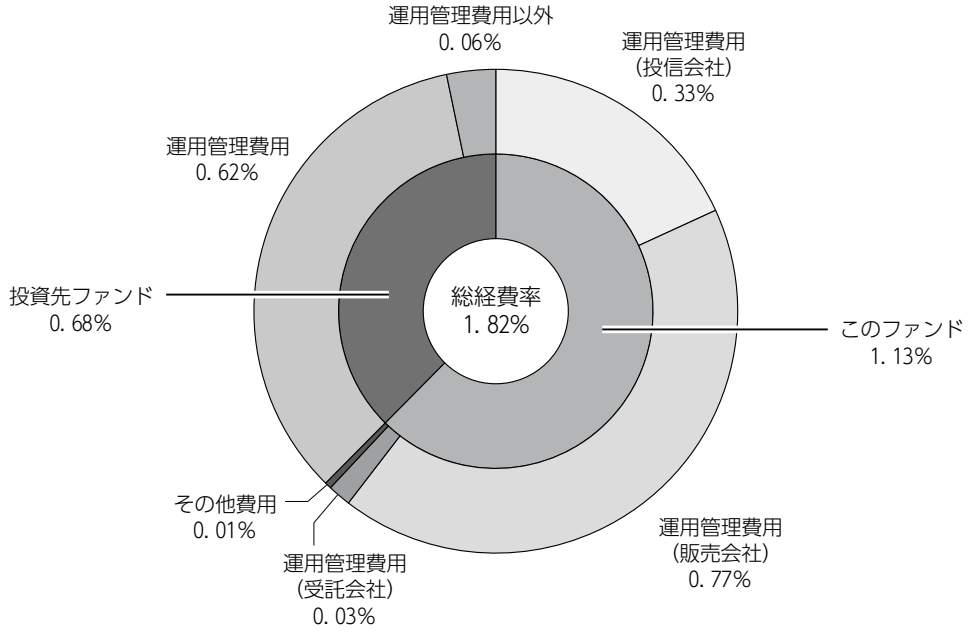
項目	当期（2019.9.18～2020.3.17）		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	61円	0.560%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は10,887円です。**
（投信会社）	(18)	(0.164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(42)	(0.382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合計	61	0.564	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.82%です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	1.82%
①このファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.62%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2019年９月18日から2020年３月17日まで）

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国 （邦貨建）	3,908.961683	395,729	256.285116	24,000

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

（2019年９月18日から2020年３月17日まで）

当期							
買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	3,751.612915	380,000	101	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	256.285116	24,000	93

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1)ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY HEDGED DISTRIBUTION CLASS	12,000.751466	1,045,469	98.0

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2)親投資信託残高

種類	期首	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	95	95	96

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年３月17日現在

項　　目	当　期　末	
	評　価　額	比　率
	千円	%
投資信託受益証券	1,045,469	97.5
ダイワ・マネー・マザーファンド	96	0.0
コール・ローン等、その他	27,220	2.5
投資信託財産総額	1,072,786	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年３月17日現在

項　　目	当　期　末
（A）資産	**1,084,786,715円**
コール・ローン等	15,220,326
投資信託受益証券（評価額）	1,045,469,465
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	96,924
未収入金	24,000,000
（B）負債	**17,861,379**
未払金	12,000,000
未払信託報酬	5,818,850
その他未払費用	42,529
（C）純資産総額（A－B）	**1,066,925,336**
元本	1,125,157,405
次期繰越損益金	△ 58,232,069
（D）受益権総口数	**1,125,157,405口**
１万口当り基準価額（C／D）	**9,482円**

＊期首における元本額は778,781,801円、当作成期間中における追加設定元本額は366,392,578円、同解約元本額は20,016,974円です。
＊当期末の計算口数当りの純資産額は9,482円です。
＊当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は58,232,069円です。

■損益の状況

当期　自2019年９月18日　至2020年３月17日

項　　目	当　期
（A）配当等収益	**15,623,765円**
受取配当金	15,627,594
受取利息	12
支払利息	△ 3,841
（B）有価証券売買損益	△ **157,425,392**
売買益	207,645
売買損	△ 157,633,037
（C）信託報酬等	△ **5,861,386**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	△ **147,663,013**
（E）前期繰越損益金	**31,516,478**
（F）追加信託差損益金	**57,914,466**
（配当等相当額）	(35,569,449)
（売買損益相当額）	(22,345,017)
（G）合計（D＋E＋F）	△ **58,232,069**
次期繰越損益金（G）	△ **58,232,069**
追加信託差損益金	57,914,466
（配当等相当額）	(35,569,449)
（売買損益相当額）	(22,345,017)
分配準備積立金	41,278,857
繰越損益金	△ 157,425,392

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	当　期
（a）経費控除後の配当等収益	9,762,379円
（b）経費控除後の有価証券売買等損益	0
（c）収益調整金	35,569,449
（d）分配準備積立金	31,516,478
（e）当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	76,848,306
（f）分配金	0
（g）翌期繰越分配対象額（e－f）	76,848,306
（h）受益権総口数	1,125,157,405口

《お知らせ》
■商号変更について
大和証券投資信託委託株式会社は、2020年４月１日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

為替ヘッジなし／資産成長型

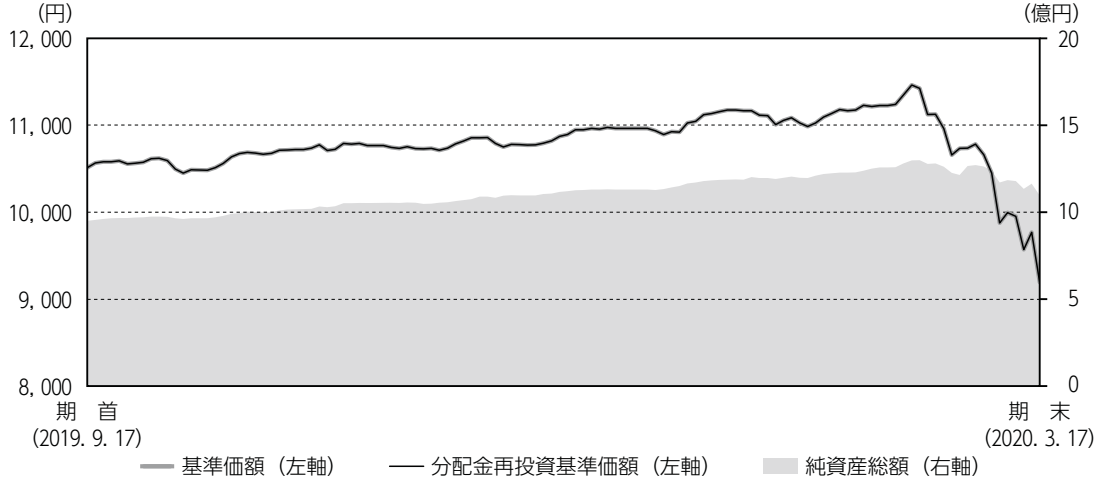
設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債組入比率	投資信託証券受入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率			
	円	円	%	%	%	百万円
1期末（2019年3月18日）	10,242	0	2.4	—	95.9	556
2期末（2019年9月17日）	10,512	0	2.6	—	99.4	950
3期末（2020年3月17日）	9,192	0	△ 12.6	—	99.3	1,095

（注1）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注2）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注3）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
（注4）当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

運用経過

基準価額等の推移について



＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期　首：10,512円
期　末：　9,192円（分配金 0 円）
騰落率：△12.6%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）で保有している株式やハイイールド債券などの下落、米ドルが対円で下落（円高）したことなどがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）：グローバル・マルチ・ストラテジー－ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

年　月　日	基準価額		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
		騰落率		
	円	%	%	%
（期 首）2019年 9 月17日	10,512	—	—	99.4
9 月末	10,616	1.0	—	99.3
10月末	10,775	2.5	—	98.5
11月末	10,856	3.3	—	97.9
12月末	10,963	4.3	—	99.5
2020年 1 月末	11,025	4.9	—	99.4
2 月末	10,961	4.3	—	99.3
（期 末）2020年 3 月17日	9,192	△ 12.6	—	99.3

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について （2019. 9. 18 ～ 2020. 3. 17）

■海外金融市況

海外金融市場は、株式は大幅下落、投資適格社債は底堅い展開となりました。

株式市場は、米国の緩和的な金融政策や米国企業の好調な業績動向などから、堅調な展開が続きました。しかし2020年２月下旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大懸念、ＯＰＥＣ（石油輸出国機構）と非ＯＰＥＣ主要産油国による「ＯＰＥＣプラス」の会合における減産交渉の決裂で原油価格が急落したこと、米国の景気後退懸念の高まりなどから、大幅な下落となりました。

債券市場では、米国の金融緩和策や投資家のリスク回避の動きから、投資適格社債は相対的に底堅い展開となりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う投資家の現金化の動きから、ハイイールド債券は低調なパフォーマンスとなりました。

■為替相場

米ドル円為替相場は下落しました。

当作成期首より、為替相場はおおむねレンジで推移しました。しかし2020年２月下旬以降は、世界的な株安に伴うリスク回避の動きや米国の緊急利下げに伴う日米金利差縮小などが要因となり、対米ドルで円高基調となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産（株式、債券、優先証券など）に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。米国では景気サイクルが後半期に突入したこと、2020年以降のグローバル経済に対する減速懸念が意識されることなどを背景に、投資適格社債やハイイールド債券等のクレジット性資産を強気にみています。引き続き、ボトムアップ

分析による厳選した銘柄選定を通じて、投資妙味のある銘柄の組み入れに注力してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて （2019. 9. 18 ～ 2020. 3. 17）

■当ファンド

当ファンドは、フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資するファンド・オブ・ファンズです。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することをめざしました。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れました。高クーポンが享受できる投資適格社債やハイイールド債券などインカム系資産の組入比率を高位に維持しましたが、一方で株式については、景気サイクルが後半期に突入するなど潜在的なリスクを注視しながら、慎重なスタンスとしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性と資産の安全性に配慮し、現先取引やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項　　目			当期 2019年９月18日 ～2020年３月17日
当期分配金（税込み）		**（円）**	**―**
	対基準価額比率	（%）	―
	当期の収益	（円）	―
	当期の収益以外	（円）	―
翌期繰越分配対象額		（円）	881

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■当ファンド

フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）とダイワ・マネー・マザーファンドへ投資します。フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■フレキシブル・インカム・ファンド（ヘッジなし・クラス）

当ファンドでは、世界の米ドル建資産に投資を行い、高水準のインカムと魅力的なリスク調整後リターンを追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。アセット・アロケーションは、有望企業を選別し、その企業が発行する証券の中で最も投資妙味が高いと考える証券を組み入れます。米国では景気サイクルが後半期に突入したこと、2020年以降のグローバル経済に対する警戒感が高まっていることから、当ファンドでは、株式と比較して投資適格社債を強気にみており、また弁済順位の高い証券に投資妙味があると考えています。引き続きボトム・アップ分析による厳選した銘柄選定を通じて、投資妙味のある銘柄の組み入れに注力してまいります。

■ダイワ・マネー・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

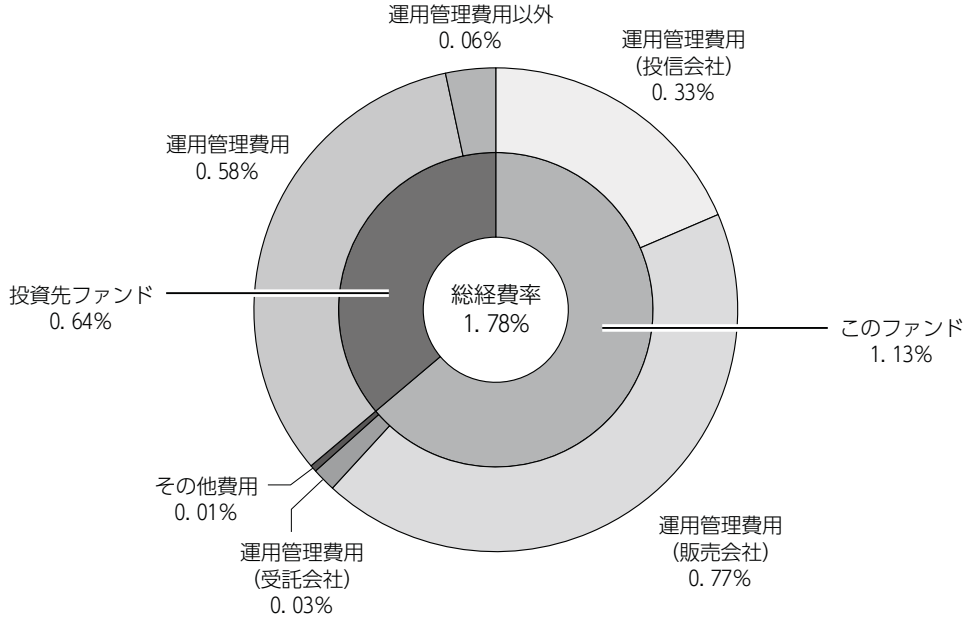
項目	当期（2019.9.18～2020.3.17）		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	60円	0.560%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は10,802円です。**
（投信会社）	(18)	(0.164)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販売会社）	(41)	(0.382)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(1)	(0.014)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合計	61	0.564	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.78%です。



総経費率　（　①　＋　②　＋　③　）	1.78%
①このファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.58%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.06%

（注１）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）各比率は、年率換算した値です。
（注４）投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注５）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注６）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注７）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2019年９月18日から2020年３月17日まで）

	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国 （邦貨建）	3,712.028793	365,207	269.671498	26,000

（注１）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
（注２）金額は受渡し代金。
（注３）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

（2019年９月18日から2020年３月17日まで）

当期							
買付				売付			
銘柄	口数	金額	平均単価	銘柄	口数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	3,359.508328	331,000	98	NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS（ケイマン諸島）	269.671498	26,000	96

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1)ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） NUVEEN NWQ FLEXIBLE INCOME FUND JPY NON-HEDGED DISTRIBUTION CLASS	13,225.236984	1,088,265	99.3

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2)親投資信託残高

種類	期首	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネー・マザーファンド	337	337	343

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年３月17日現在

項　　目	当　期　末	
	評　価　額	比　率
	千円	%
投資信託受益証券	1,088,265	98.2
ダイワ・マネー・マザーファンド	343	0.0
コール・ローン等、その他	19,548	1.8
投資信託財産総額	1,108,157	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年３月17日現在

項　　目	当　期　末
（A）資産	**1,114,157,442円**
コール・ローン等	19,548,637
投資信託受益証券（評価額）	1,088,265,075
ダイワ・マネー・マザーファンド（評価額）	343,730
未収入金	6,000,000
（B）負債	**18,270,383**
未払金	12,000,000
未払信託報酬	6,224,888
その他未払費用	45,495
（C）純資産総額（A－B）	**1,095,887,059**
元本	1,192,178,153
次期繰越損益金	△ 96,291,094
（D）受益権総口数	**1,192,178,153口**
１万口当り基準価額（C／D）	**9,192円**

＊期首における元本額は904,505,082円、当作成期間中における追加設定元本額は356,747,362円、同解約元本額は69,074,291円です。
＊当期末の計算口数当りの純資産額は9,192円です。
＊当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は96,291,094円です。

■損益の状況

当期　自2019年９月18日　至2020年３月17日

項　　目	当　期
（A）配当等収益	**33,264,063円**
受取配当金	33,267,516
受取利息	18
支払利息	△ 3,471
（B）有価証券売買損益	△ **196,225,269**
売買益	452,329
売買損	△ 196,677,598
（C）信託報酬等	△ **6,270,387**
（D）当期損益金（A＋B＋C）	△ **169,231,593**
（E）前期繰越損益金	**35,871,103**
（F）追加信託差損益金	**37,069,396**
（配当等相当額）	(42,170,347)
（売買損益相当額）	(△ 5,100,951)
（G）合計（D＋E＋F）	△ **96,291,094**
次期繰越損益金（G）	△ **96,291,094**
追加信託差損益金	37,069,396
（配当等相当額）	(42,170,347)
（売買損益相当額）	(△ 5,100,951)
分配準備積立金	62,864,779
繰越損益金	△ 196,225,269

（注１）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注３）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	当　期
（a）経費控除後の配当等収益	26,993,676円
（b）経費控除後の有価証券売買等損益	0
（c）収益調整金	42,170,347
（d）分配準備積立金	35,871,103
（e）当期分配対象額（a＋b＋c＋d）	105,035,126
（f）分配金	0
（g）翌期繰越分配対象額（e－f）	105,035,126
（h）受益権総口数	1,192,178,153口

《お知らせ》
■商号変更について
大和証券投資信託委託株式会社は、2020年４月１日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

グローバル・マルチ・ストラテジー －ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス／ヘッジなし・クラス）

当ファンド（NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）（為替ヘッジなし／隔月分配型）（為替ヘッジあり／資産成長型）（為替ヘッジなし／資産成長型））はケイマン籍の外国投資信託「グローバル・マルチ・ストラテジー－ヌビーン・エヌ・ダブリュー・キュー・フレキシブル・インカム・ファンド（円ヘッジ・クラス／ヘッジなし・クラス）」に投資しておりますが、以下の内容は一部の項目を除きすべてのクラスを合算しております。
（注）2020年３月17日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

（米ドル建て）

貸借対照表
2018年12月31日

	US$
資産	
現金および現金同等物	786, 902
金融資産（損益通算後の評価額）	164, 365, 179
受益証券買付けに対する未収金	28, 733, 154
受取勘定	2, 179, 368
資産合計	**196, 064, 603**
負債	
金融負債（損益通算後の評価額）	148, 738
支払勘定	5, 679, 111
負債合計（償却可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産を除く）	**5, 827, 849**
償却可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産	**190, 236, 754**

損益計算書
2018年12月31日に終了した年度

	US$
投資収益	
金融資産（損益通算後の評価額）からの配当収益	511, 130
現金および現金同等物からの受取利息	23, 593
債券（損益通算後の評価額）からの受取利息	1, 286, 298
純外国為替収益	283, 102
金融資産（損益通算後の評価額）からの純損失	(8, 142, 864)
投資損失合計	**(6, 038, 741)**
費用	
受託会社報酬	3, 200
運用会社報酬	160, 021
管理会社報酬	12, 802
保管会社報酬	27, 572
為替運用会社報酬	742
為替計算代理人報酬	345
監査報酬	27, 370
設立費	8, 860
金融商品の減損	—
その他の報酬・費用	7, 048
費用合計	**247, 960**
営業損失	**(6, 286, 701)**
金融費用	
現金および現金同等物にかかる支払利息	(354)
分配金	(746, 499)
金融費用合計	**(746, 853)**
償却可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産の減少（税引前）	**(7, 033, 554)**
源泉徴収税	(147, 530)
償却可能参加型受益証券の保有者に帰属する純資産の減少	**(7, 181, 084)**

(米ドル建て)

投資明細表

2018年12月31日

銘柄名	純資産に占める割合(%)	評価額($)
転換社債		
米国		
SEMPRA ENERGY SRE 6 3/4 2021/7/15	1. 42	2, 699, 998
NEXTERA ENERGY NEE 6. 123 2019/9/1	0. 91	1, 735, 249
LIBERTY MEDIA LINTA 4 2029/11/15	0. 9	1, 703, 033
VISTRA ENERGY CO VST 7 2019/7/1	0. 71	1, 354, 585
WELLS FARGO CO WFC 7 1/2 永久債	0. 62	1, 171, 302
LIBERTY MEDIA LINTA 3 3/4 2030/2/15	0. 28	541, 202
BANK OF AMER CRP BAC 7 1/4 永久債	0. 28	534, 157
株式		
ドイツ		
SIEMENS AG-SPONS ADR	0. 34	645, 097
英国		
GLAXOSMITHKLINE PLC-SPON ADR	1	1, 907, 534
ASTRAZENECA PLC-SPONS ADR	0. 75	1, 429, 184
KINGFISHER PLC-SPONS ADR	0. 29	545, 222
米国		
FIRSTENERGY CORP	1. 27	2, 407, 758
BROADCOM INC	1. 14	2, 168, 868
EVERGY INC	1. 01	1, 919, 777
MGM GROWTH PROPERTIES LLC-A	0. 81	1, 545, 037
CYPRESS SEMICONDUCTOR CORP	0. 75	1, 435, 958
ENTERPRISE PRODUCTS PARTNERS	0. 67	1, 268, 305
GILEAD SCIENCES INC	0. 5	954, 054
APARTMENT INVT & MGMT CO -A	0. 34	640, 666
EQUITRANS MIDSTREAM CORP	0. 33	632, 815
DOWDUPONT INC	0. 33	627, 884
ARES CAPITAL CORP	0. 3	580, 021
DELTA AIR LINES INC	0. 29	555, 809
ORACLE CORP	0. 2	371, 513
SYNCHRONY FINANCIAL	0. 18	338, 994
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	0. 17	332, 191
EQT CORP	0. 17	331, 720
CNA FINANCIAL CORP	0. 17	314, 551
投資適格社債		
ベルギー		
ANHEUSER-BUSCH ABIBB 4. 9 2046/2/1	0. 5	952, 275
カナダ		
EMERA INC EMACN 6 3/4 2076/6/15	1. 33	2, 521, 004
TRANSCANADA TRUS TRPCN 5 7/8 2076/8/15	0. 63	1, 207, 663
フランス		
ARCELORMITTAL MTNA 7 2039/10/15	0. 37	697, 529
ペルー		
SOUTHERN COPPER SCCO 5 7/8 2045/4/23	0. 4	752, 225
米国		
VIACOM INC VIA 6 7/8 2036/4/30	2. 45	4, 657, 846
HP ENTERPRISE HPE 6. 35 2045/10/15	1. 79	3, 400, 338
NORDSTROM INC JWN 5 2044/1/15	1. 48	2, 822, 930
MCDONALD'S CORP MCD 4 7/8 2045/12/9	1. 28	2, 442, 234
EQT MIDSTREAM PT EQM 5 1/2 2028/7/15	1. 24	2, 352, 598

銘柄名	純資産に占める割合(%)	評価額($)
SELECT INCOME RE SIR 4 1/2 2025/2/1	1. 13	2, 145, 651
GENERAL MOTORS C GM 6. 6 2036/4/1	1. 01	1, 913, 947
PHILLIPS 66 PSX 4. 65 2034/11/15	1	1, 908, 570
EQT MIDSTREAM PT EQM 6 1/2 2048/7/15	0. 93	1, 764, 653
HCA INC HCA 6 1/2 2020/2/15	0. 9	1, 711, 437
CISCO SYSTEMS CSCO 3 2022/6/15	0. 73	1, 380, 658
TECH DATA CORP TECD 4. 95 2027/2/15	0. 67	1, 273, 540
LIBERTY MUTUAL LIBMUT 7. 8 2037/3/15 - 144A	0. 53	1, 005, 140
SEAGATE HDD CAYM STX 4 7/8 2027/6/1	0. 48	920, 357
RAYMOND JAMES RJF 4. 95 2046/7/15	0. 21	395, 296
ハイイールド債券		
カナダ		
AUTOMATION TOOLI ATACN 6 1/2 2023/6/15 - 144A	0. 76	1, 444, 793
FIRST QUANTUM FMCN 7 2021/2/15 - 144A	0. 74	1, 410, 553
オランダ		
ALTICE FINANCING ALTICE 7 1/2 2026/5/15 - 144A	0. 4	760, 292
米国		
BLUE CUBE SPINCO OLN 9 3/4 2023/10/15	2. 48	4, 723, 082
XPO LOGISTICS XPO 6 1/2 2022/6/15 - 144A	2. 16	4, 115, 031
NAVIENT CORP NAVI 8 2020/3/25	1. 87	3, 565, 854
TR OP / TR FIN TRINSE 5 3/8 2025/9/1 - 144A	1. 77	3, 361, 299
DYNEGY INC VST 7 5/8 2024/11/1	1. 65	3, 129, 581
ALLY FINANCIAL ALLY 8 2020/3/15	1. 58	3, 000, 780
SEALED AIR CORP SEE 6 7/8 2033/7/15 - 144A	1. 24	2, 352, 644
ENVIVA PRTNRS EVA 8 1/2 2021/11/1	1. 12	2, 121, 901
COOPER-STANDARD CPS 5 5/8 2026/11/15 - 144A	0. 95	1, 802, 826
DONNELLEY FIN DFIN 8 1/4 2024/10/15	0. 93	1, 773, 477
ITRON INC ITRI 5 2026/1/15 - 144A	0. 92	1, 741, 415
DISH DBS CORP DISH 6 3/4 2021/6/1	0. 89	1, 698, 197
NEXSTAR BROADC NXST 5 5/8 2024/8/1 - 144A	0. 88	1, 683, 077
DANA FIN LUX SAR DAN 6 1/2 2026/6/1 - 144A	0. 88	1, 664, 846
L BRANDS INC LB 6 7/8 2035/11/1	0. 8	1, 528, 415
TEREX CORP TEX 5 5/8 2025/2/1 - 144A	0. 79	1, 508, 842
GCI LLC GCILLC 6 7/8 2025/4/15	0. 79	1, 506, 585
KENNEDY-WILSON KW 5 7/8 2024/4/1	0. 79	1, 501, 137
CIT GROUP INC CIT 6 1/8 2028/3/9	0. 75	1, 424, 596
CENTURYLINK INC CTL 7. 65 2042/3/15	0. 75	1, 422, 455
DANA FIN LUX SAR DAN 5 3/4 2025/4/15 - 144A	0. 7	1, 327, 076
ALBERTSONS COS ALBLLC 6 5/8 2024/6/15	0. 66	1, 260, 452
US CELLULAR CORP USM 7 1/4 2063/12/1	0. 64	1, 225, 109
AMER AXLE & MFG AXL 6 1/4 2025/4/1	0. 62	1, 187, 047
STEVENS HOLDING AIMC 6 1/8 2026/10/1 - 144A	0. 61	1, 154, 345
VIASAT INC VSAT 5 5/8 2025/9/15 - 144A	0. 61	1, 151, 264
LIBERTY MEDIA LINTA 8 1/2 2029/7/15	0. 55	1, 047, 812
DEAN FOODS CO DF 6 1/2 2023/3/15 - 144A	0. 54	1, 027, 471
KEMPER KMPR 7 3/8 2054/2/27	0. 5	948, 633
DISH DBS CORP DISH 7 3/4 2026/7/1	0. 48	912, 714
VERSUM MATERIALS VSM 5 1/2 2024/9/30 - 144A	0. 48	908, 712
AK STEEL CORP AKS 7 2027/3/15	0. 48	903, 808

銘柄名	純資産に占める割合(%)	評価額($)
US STEEL CORP X 6 7/8 2025/8/15	0.47	897,021
GREYSTAR REAL ES GRSTAR 5 3/4 2025/12/1 - 144A	0.45	862,483
UNIVAR USA INC UNIVAR 6 3/4 2023/7/15 - 144A	0.44	845,347
CVR PARTNERS LP UAN 9 1/4 2023/6/15 - 144A	0.43	811,990
US STEEL CORP X 6 1/4 2026/3/15	0.38	717,198
AMER AXLE & MFG AXL 6 1/2 2027/4/1	0.34	640,085
RITE AID CORP RAD 6 1/8 2023/4/1 - 144A	0.33	634,351
HEALTHSOUTH CORP EHC 5 3/4 2024/11/1	0.32	606,843
AK STEEL CORP AKS 7 1/2 2023/7/15	0.27	515,321
RACKSPACE HOSTIN RAX 8 5/8 2024/11/15 - 144A	0.24	456,413
RR DONNELLEY RRD 6 1/2 2023/11/15	0.21	399,702
NATL GEN HLDG NGHC 7 5/8 2055/9/15	0.2	371,017
CNF INC CNW 6.7 2034/5/1	0.18	345,660
TEMPUR SEALY INT TPX 5 1/2 2026/6/15	0.16	298,387
QORVO INC QRVO 5 1/2 2026/7/15 - 144A	0.13	245,901
JELD-WEN INC JELD 4 7/8 2027/12/15 - 144A	0.12	233,778
RESIDEO FUNDING REZI 6 1/8 2026/11/1 - 144A	0.02	35,025
優先証券		
英国		
LLOYDS BANK PLC LLOYDS 12 永久債 - 144A	0.31	589,210
米国		
GMAC CAP TR I ALLY 8.40113 2040/2/15	1.14	2,169,847
BANK OF AMER CRP BAC 6 1/2 永久債	1.07	2,030,948
CITIGROUP INC C 6 1/4 永久債	1.02	1,944,804
JPMORGAN CHASE JPM 6 3/4 永久債	1.02	1,943,720
PNC FINANCIAL PNC 6 3/4 永久債	0.85	1,624,390
WELLS FARGO CO WFC 5 7/8 永久債	0.8	1,516,776
LADENBURG THALMA LTS 8 永久債	0.61	1,157,140
CHS INC CHSINC 7.1 永久債	0.59	1,116,138
CITIGROUP INC C 7 1/8 永久債	0.57	1,088,023
CAPITAL ONE FINL COF 5.55 永久債	0.52	995,365
MORGAN STANLEY MS 7 1/8 永久債	0.52	986,876
CIT GROUP INC CIT 5.8 永久債	0.49	933,490
ENSTAR GROUP LTD ESGR 7 永久債	0.47	887,585
CHS INC CHSINC 6 3/4 永久債	0.46	883,647
LAND O'LAKES INC LLAKES 7 永久債 - 144A	0.44	834,275
HUNTINGTON BANCS HBAN 6 1/4 永久債	0.42	806,755
GEN MOTORS FIN GM 6 1/2 永久債	0.42	800,589
ZIONS BANCORP ZION 7.2 永久債	0.42	798,657
CHS INC CHSINC 7 7/8 永久債	0.41	783,987
LAND O'LAKES INC LLAKES 7 1/4 永久債 - 144A	0.39	732,446
VEREIT INC VER 6.7 永久債	0.37	708,104
DIGITAL REALTY DLR 7 3/8 永久債	0.33	629,246
GOLDMAN SACHS GP GS 5.3 永久債	0.27	520,740
BANK OF AMER CRP BAC 6.3 永久債	0.2	389,498
DIGITAL REALTY DLR 6 5/8 永久債	0.2	378,727
MORGAN STANLEY MS 6 3/8 永久債	0.16	296,340
NATIONAL STORAGE NSA 6 永久債	0.14	264,116
CAPITAL ONE FINL COF 6.7 永久債	0.11	209,099
CITIGROUP INC C 5.8 永久債	0.1	196,669

＜補足情報＞

当ファンド（NWQグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）／（為替ヘッジなし／隔月分配型）／（為替ヘッジあり／資産成長型）／（為替ヘッジなし／資産成長型））が投資対象としている「ダイワ・マネー・マザーファンド」の決算日（2019年12月９日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、2020年３月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネー・マザーファンドの主要な売買銘柄

2019年９月18日～2020年３月17日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

下記は、2020年３月17日現在におけるダイワ・マネー・マザーファンド（52,353,574千口）の内容です。

国内その他有価証券

	2020年３月17日現在	
	評　価　額	比　　率
	千円	%
国内短期社債等	999,996	<1.9>

（注１）＜　＞内は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

運用報告書　第15期（決算日　2019年12月９日）

（作成対象期間　2018年12月11日～2019年12月９日）

ダイワ・マネー・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

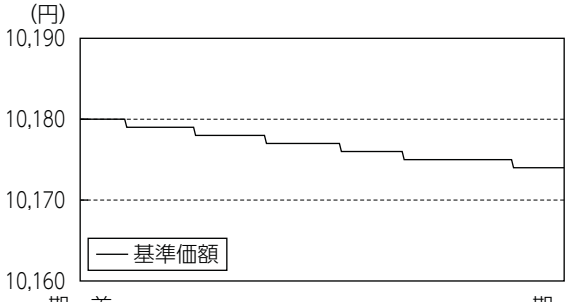
★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運　用　方　針	主としてわが国の公社債への投資により、利息収入の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	本邦通貨表示の公社債
株式組入制限	純資産総額の30%以下

大和投資信託
Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
	円	%	%
(期首)2018年12月10日	10,180	−	−
12月末	10,180	0.0	−
2019年1月末	10,179	△0.0	−
2月末	10,179	△0.0	−
3月末	10,178	△0.0	−
4月末	10,178	△0.0	−
5月末	10,177	△0.0	−
6月末	10,176	△0.0	−
7月末	10,176	△0.0	−
8月末	10,175	△0.0	−
9月末	10,175	△0.0	−
10月末	10,175	△0.0	−
11月末	10,174	△0.1	−
(期末)2019年12月9日	10,174	△0.1	−

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、利息収入の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,180円　期末：10,174円　騰落率：△0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債やコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性と資産の安全性に配慮し、短期の国債、現先取引およびコール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	0
(その他)	(0)
合計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 公社債

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	350,004	− (350,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) (　)内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

(2) その他有価証券

(2018年12月11日から2019年12月9日まで)

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国内短期社債等	238,999,542	238,999,547 (−)

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) (　)内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

ダイワ・マネー・マザーファンド

■主要な売買銘柄
公　社　債

（2018年12月11日から2019年12月９日まで）

当期				
買付			売付	
銘柄		金額	銘柄	金額
		千円		千円
801 国庫短期証券 2019/3/18		350,004		

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表
国内その他有価証券

	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
国内短期社債等	999,997	<1.2>

（注１）<　>内は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年12月９日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
コール・ローン等、その他	83,690,918	100.0
投資信託財産総額	83,690,918	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年12月９日現在

項目	当期末
(A) 資産	**83,690,918,350円**
コール・ローン等	82,690,920,679
現先取引(その他有価証券)	999,997,671
(B) 負債	**51,646**
その他未払費用	51,646
(C) 純資産総額(A－B)	**83,690,866,704**
元本	82,259,129,638
次期繰越損益金	1,431,737,066
(D) 受益権総口数	**82,259,129,638口**
１万口当り基準価額(C／D)	**10,174円**

＊期首における元本額は78,610,288,449円、当作成期間中における追加設定元本額は112,484,550,034円、同解約元本額は108,835,708,845円です。
＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ日経225－シフト11－　2019－03（適格機関投資家専用）1,850,319,411円、ダイワ・グローバルＩｏＴ関連株ファンド　－ＡＩ新時代－　（為替ヘッジあり）977,694円、ダイワ・グローバルＩｏＴ関連株ファンド　－ＡＩ新時代－（為替ヘッジなし）977,694円、ダイワＦＥグローバル・バリュー（為替ヘッジあり）9,608円、ダイワＦＥグローバル・バリュー（為替ヘッジなし）9,608円、ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり）49,107円、ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし）49,107円、ダイワ／“ＲＩＣＩ®”コモディティ・ファンド5,024,392円、ＵＳ債券ＮＢ戦略ファンド（為替ヘッジあり／年１回決算型）1,676円、ＵＳ債券ＮＢ戦略ファンド（為替ヘッジなし／年１回決算型）1,330円、ＮＢストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>米ドルコース981円、ＮＢストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>円コース981円、ＮＢストラテジック・インカム・ファンド<ラップ>世界通貨分散コース981円、ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／隔月分配型）180,729円、ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／隔月分配型）737,649円、ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジあり／資産成長型）95,276円、ＮＷＱグローバル厳選証券ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）337,885円、世界セレクティブ株式オープン983円、ＤＣダイワ・マネー・ポートフォリオ4,249,607,706円、ダイワファンドラップ　コモディティセレクト317,107,941円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）－トリプルリターンズ－　日本円・コース（毎月分配型）132,757円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）　－トリプルリターンズ－　豪ドル・コース（毎月分配型）643,132円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）　－トリプルリターンズ－　ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）4,401,613円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）　－トリプルリターンズ－　米ドル・コース（毎月分配型）12,784円、ダイワ／フィデリティ北米株式ファンド－パラダイムシフト－9,853,995円、低リスク型アロケーションファンドⅡ（適格機関投資家専用）4,212,646,194円、ブルベア・マネー・ポートフォリオＶ　32,678,414,397円、ブル３倍日本株ポートフォリオＶ　31,868,647,270円、ベア２倍日本株ポートフォリオＶ　6,946,381,074円、ダイワＦＥグローバル・バリュー株ファンド（ダイワＳＭＡ専用）3,666円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）ブラジル・レアル・コース（毎月分配型）155,317円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）日本円・コース（毎月分配型）38,024円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）米ドル・コース（毎月分配型）4,380円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）豪ドル・コース（毎月分配型）22,592円、ダイワ／アムンディ食糧増産関連ファンド164,735円、ダイワ日本リート・ファンド・マネー・ポートフォリオ109,485,524円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（資産成長コース）33,689円、ダイワ新興国ソブリン債券ファンド（通貨αコース）96,254円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド－インフラ革命－　（為替ヘッジあり）5,385円、ダイワ・インフラビジネス・ファンド　－インフラ革命－　（為替ヘッジなし）11,530円、ダイワ米国ＭＬＰファンド（毎月分配型）米ドルコース9,817円、ダイワ米国ＭＬＰファンド（毎月分配型）日本円コース6,964円、ダイワ米国ＭＬＰファンド（毎月分配型）通貨αコース9,479円、ダイワ英国高配当株ツインα（毎月分配型）98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド98,107円、ダイワ英国高配当株ファンド・マネー・ポートフォリオ980,367円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）南アフリカ・ランド・コース（毎月分配型）1,097円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）トルコ・リラ・コース（毎月分配型）2,690円、ダイワ米国高金利社債ファンド（通貨選択型）通貨セレクト・コース（毎月分配型）1,350円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）　株式αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）　通貨αコース98,203円、ダイワ・オーストラリア高配当株α（毎月分配型）　株式＆通貨ツインαコース982,029円、ダイワ米国株ストラテジーα（通貨選択型）　－トリプルリターンズ－通貨セレクト・コース（毎月分配型）98,174円です。
＊当期末の計算口数当りの純資産額は10,174円です。

■損益の状況

当期　自2018年12月11日　至2019年12月９日

項目	当期
(A) 配当等収益	**△　42,819,286円**
受取利息	111,756
支払利息	△　42,931,042
(B) その他費用	**△　2,381,736**
(C) 当期損益金(A＋B)	**△　45,201,022**
(D) 前期繰越損益金	**1,418,229,476**
(E) 解約差損益金	**△1,927,237,136**
(F) 追加信託差損益金	**1,985,945,748**
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	**1,431,737,066**
次期繰越損益金(G)	**1,431,737,066**

（注１）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。